

## 令和元年台風第 19 号による被害対応について

## 1. 被害状況（総務省消防庁 11 月 21 日 7：00 発表）

<https://www.fdma.go.jp/disaster/info/items/taihuu19gou57.pdf>

## 2. 各地の情報共有会議（11 月 20 日現在） \*11 月 20 日送付の一覧を参照ください

地元の団体を中心に各地で支援関係者による情報共有会議が開催され、各自の活動を通じた課題を共有し、それらの解決を図っています。JVOAD も各地の情報共有会議に参加し、行政や災害 VC、NPO や企業と連携して課題解決に向けた調整を行っています。

福島県いわき市、栃木県宇都宮市、宮城県丸森町では、市町域で活動している支援団体による情報共有会議も行われています。

## 3. 各被災地の状況・課題について

JVOAD として、各地にスタッフを派遣しながら、地元のネットワークとの連携や情報共有会議から支援状況や課題の全体像の把握に努めています。復興フェーズの変化に伴い、これまでの被災地で起きた課題なども伝えながら、制度と民間の支援の調整を関係団体と連携しながら進めています。

岩手県	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いわて NPO 災害支援ネットワーク（INDS）と連携して状況確認</li> <li>・震災がつなぐ全国ネットワーク発行の「水害にあった時に」や床下に関する資料を NPO などが配布して、カビ対策などについて住民に周知している</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消毒と床下・壁対応</li> </ul>
宮城県	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10 月 17 日より災害 VC 支援連絡会議が行われており、行政、社会福祉協議会、地元の間支援組織、NPO などが参加、丸森町では支援関係者による町域の情報共有会議も行われている</li> <li>・丸森町の方では、行政の訪問調査に向けた動きが出ている</li> <li>・NPO が重機で宅地の土砂を除去したことで、ようやく自宅に入れて、ようやく片づけを始められたという人もいる</li> <li>・大郷町、丸森町では、建設型の仮設住宅を予定している</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・床下・壁対応への地域差がある → 講習会の実施</li> <li>・在宅避難者の実態が把握できていない</li> <li>・丸森町では、災害廃棄物の運搬を今も NPO で対応している</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自衛隊のお風呂が終了し、被災者の中には入浴ができていない人もいる</li> </ul>
福島県	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふくしま連携復興センターの呼びかけで10月16日から情報共有会議を開催し、いわき市でも10月31日から毎週木曜日にいわき市社会福祉協議会、行政、NPO等による「いわき市支援者情報共有会議」が始まっている</li> <li>・見守り・相談事業の実施について、福島県が被災市町の意向を確認している（JVOADも同行）</li> <li>・郡山市では、今も300名くらいが避難所におり、応急仮設、みなし仮設の意向調査を行っている</li> <li>・本宮市の避難者は132名、今後避難所の集約を行う予定、あわせて仮設への意向調査を始める予定</li> <li>・いわき市では、床下の消毒に対応（12月末までを予定） コールセンターを設けて住民からの問い合わせにも対応、泥出しまでは各自で対応が必要</li> <li>・家屋保全講習会をいわき市内各地で行っている団体がいる</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害ボランティアセンターに来ているニーズ数が、被害の1割強、まだ声をあげられていない人も多いのではないか</li> <li>・床下、壁剥がしへの対応</li> <li>・いわき市では行政が消毒対応を始めているが、泥出しまでは各自で対応が必要 なため、住民への周知、実際の泥出し対応、時期的な面で調整が必要</li> </ul>
栃木県	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木県の呼びかけで10月16日に情報共有会議が開催され、行政、社会福祉協議会、地元の中間支援組織、地元団体、大学を中心に1週間に1回開催されている、テーマごとに課題を共有し、解決を図るように会議を進めている 宇都宮市でも市域の情報共有会議が週1回程度で開催されている</li> <li>・地域差はあるが、ニーズの変わり目に入ってきている 被災高齢者の健康調査やローラでの個別確認を行っている地域もあるが、今後在宅避難者の状況把握が必要</li> <li>・今後、子どもも含めてこころのケアなども必要</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・床下対応への地域差が出ている、技術系の支援がほとんどないので、講習会なども行っていく予定</li> </ul>
茨城県	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・茨城県社会福祉協議会、茨城NPOセンター・commons主催で、災害支援いばらきネットワーク会議（情報共有会議）を1週間に1回程度開催</li> <li>・11/24に大子町で「ぬくもりを届けるプロジェクト」を実施、協働型のサロンで</li> </ul>

	<p>足湯、物資配布、炊き出し、相談などを実施予定  今後各地で行っていく予定、一緒に活動してくれる支援団体も随時募集している</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・茨城県弁護士会では、12月の第2週目まで電話相談を受け付けている</li> <li>・11月中に災害ボランティアセンターを閉所する地域もあり、閉所後の相談窓口の設置等を検討している地域もある</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家屋の乾燥・消毒の必要性を理解してもらう必要がある</li> <li>・カビの被害が出ている家屋もみられる</li> <li>・床下浸水の住宅の課題が今になって出てきている、断熱材がスポンジの役目をして床上まで水が上がってきているケースなどもある</li> </ul>
埼玉県	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・埼玉県災害ボランティア団体ネットワーク「彩の国会議」主催で、10月16日から情報共有会議を実施、彩の国会議メンバーを中心に定期的に情報共有している被害のあった市町で情報共有会議を開催、県内団体を中心に対応している</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・床下対応に関して地域差がある</li> </ul>
千葉県	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・台風15号による屋根被害に加え、台風19号でブルーシートの多くが剥がれたことを受け継続して対応を行っている</li> <li>・JVOADとしては、千葉県社協、千葉県南部災害支援センター、技術系支援団体等と連携し、今後の地元支援者、住民向けの講習会の調整を行っている</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨漏りによるカビが発生していて、肺炎にかかる住民も出ている</li> <li>・長期にわたるブルーシートの張替えへの対応</li> </ul>
長野県	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月14日から定期的に情報共有会議が開催されている</li> <li>11月から週2回（月・木）の開催だったが、11月18日から週1回（月）に変更</li> <li>・避難所に対する支援プログラム（シーズ）のネット受付を始めたが、当面長野県の団体に限定している</li> <li>・長野県NPOセンターが中心となり、JAとも連携して「信州農業再生復興ボランティアプロジェクト（農ボラプロジェクト）」がスタートし、果樹園に入った災害漂着物の撤去や根の周りの泥土の除去などに対応</li> <li>・NPOが在宅避難向けの炊き出しにあわせて、状況調査を行ったところ、多くの人が自宅や親せき、知人宅にいたことが分かった</li> </ul> <p>1か月以上経過し、そろそろ居づらくなってきていること、台所が使えない、洗濯ができない状況の家も多く、在宅避難者のおかれている厳しい状況が見えてきて</p>

	<p>いる、また日常生活の困りごととして、買い物や通院に苦勞しているという声も出ている</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家屋の消毒（カビ対策）</li> <li>・在宅避難者の状況</li> </ul>
その他の地域	<p>東京都：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都災害ボランティアセンター主催で10月17日から情報共有会議が開催、11月8日以降は2週間に1回の開催に変更</li> <li>・東京都内での対応が収束に向かっていることから、11月末から週に2回、福島県いわき市にボランティアバスを送る予定</li> </ul>

#### 4. 災害ボランティアセンター

災害ボランティアセンターに関する情報については、全国社会福祉協議会のホームページにて確認ください。

URL: <https://www.saigaivc.com/typhoon201919/>

#### 5. 今後のJVOADの対応について

引き続き、JVOADスタッフならびに応援スタッフ、関係団体と連携し、各地の情報共有会議などであがった課題について共有しながら、関係団体との連携により解決に向けたコーディネートを行ってまいります。今後の生活再建に向けて床下・壁などのカビ対策、在宅避難者の状況確認、家電支援、農業支援等について、全国情報共有コア会議でも課題を共有し、国の制度についても理解しながら、被災地の行政、社会福祉協議会、中間支援組織等とも連携して対応してまいります。

以 上